



## アメンボはどうやって飼うの

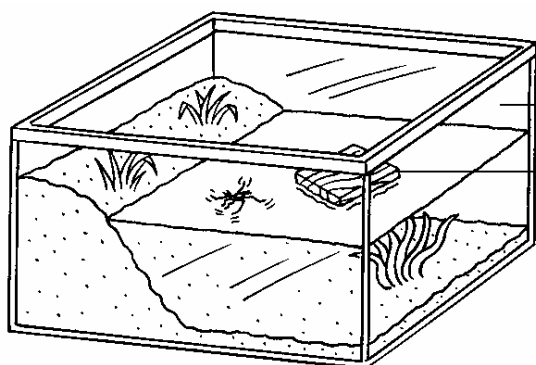
### ふたができる水そうで飼う

アメンボは、子どものうちは羽がありませんが、よくジャンプします。成虫は、羽があって飛べます。そのため、飼うときには、アメンボがにげだせないよう、金網などのふたができる水そうなどがひつよう必要です。

浅く水を入れた水そうの一方に、土をいして土手をつくらします。できれば、土手に草を植え、水の中には水草などがある、自然に近いようすが作れるとよいでしょう。水面には、木片をうかばせておきます。

### えさは、小さいハエや、カ

アメンボは、水面に落ちて弱った虫をとって食べます。落ちて、虫がばたばたするときの水面のゆれを足の先で感じて、えさの所へ行きます。アメンボが小さければ、ショウジョウバエ、大きければ、イエバエ、カ、バッタの子ども、ゴキブリなどの羽をとって、水面に落としてやります。えさは、2日に1回ぐらいやればよいでしょう。アメンボは注射器のような口で、えさの体液を吸います。（監修・中山 周平）



えさのあたえ方

